

## 9月11日 会員卓話



### 朴炳吾 会員

今日は私が努めている青少年奉仕部門の卓話の日です。

私が皆様にする話は韓国の青少年たち、特に高校生の受験状況の話  
をします。

中学から高校に進学する時には原則として進学する学生の住んでいる  
所から近い高校に自動的に進学する事になります。普通の高校は自動で  
決まりますが、私立の高校の中で、自立形私立高校がありますが、その学  
校は、学生が希望する学校に申請をして学校は中学の成績と面接で入  
学の可否を決定します。高校入学の受験は無いと言う事です。

高校に入学してから一般的の学生たちは放課後に塾に通っています。  
その塾の中では結構有名な塾もあります。それなりの費用も高いです。  
それでも塾に通う理由は 3 学年 2 学期に全国同時に実施する受能試験  
の為です。その受能試験は 3 学年 2 学期、多分 11 月頃に全国の同時に

実施する試験で、大学入学の基準になります。勿論高校の成績も基準になります。試験は二日間実施で一日目は一般科目で、二日目は論述と言う試験を実施します。この二日間が学生人生の中で一番重要な二日間です。

そのくらい重要ですから、当日には受験生の為に、一般の会社の出勤時間を遅らせたり、電車の駅かバスの停留所には警察のパトカー、白バイクかボランティアのタクシー等が、万一遅れて来る受験生の為に待機して、受験生を試験場まで乗せて送ってくれます。試験場は試験日の二日前に教えますので、試験場の位置をよく分からない受験生たちも出てきます。少しでも良い成績を取って、良い大学に入りたいので、試験の重要性は話にならない位です。

韓国の青少年たち、中高校生たちは厳しい大学受験競争の中にありながら自分たちの主張も確実にする事もあり、その体表的な行動はロウソク集会との事でテレビで報道された事もあります。そのくらい元気にしています。

短い話でしたが、この機会を持って今後も韓国の青少年の話が出来るように頑張りたいと思います。

ありがとうございました。